

研修会

「種を知ろう・そして種を使ってクラフト」に参加して

草野幸子（松戸市）

日 時：2012年9月18日（火）10時～14時30分

場 所：三咲公民館（船橋市）

講 師：吉田初子氏 指導員：19名

会場の公民館和室には壁に沿ってたくさんの種が整理されたものと、種や小枝を使ったかわいらしい動物や虫などの参考作品や、並べ方を工夫した種の標本箱が並んでいました。またクラフト作りに使う材料の種や小枝、つるなどもたくさん用意されていました。種は大小いろいろで100種類以上もあるそうです。そしてテーブルの上には一人一台のグルーガンと種を入れる箱が用意されていました。

始めに吉田先生から、種はよく見るといろいろな形や模様があり美しいものです。よく見て種を知りましょうと話がありました。次に保存は、まずよく洗って乾かすこと、果肉はよく取ること、干し上がったら紙袋に入れて保存すること、ビニール袋は絶対にダメで年に2回は出して干すことが大事ということでした。

制作については、見本は完成品ではなく、作る人のアイデアを生かせるような物にすること。動物などを作る時には、口、耳、目などの材料選びや工夫の仕方をアドバイスしてあげると良い。作っている時は、使っている材料の話をしてやる。例えば身近な種、かぼちゃやメロンについて話すことも良いということで、実際わたしが作っている時も、側に来てクルミについて話してくださいったり、ネズミのしっぽに使う材料をアドバイスしてくださったりしました。

実習では、標本箱、動物、昆虫、自由作品としてブローチや壁掛け作りに取り組みました。みなさん暑さも忘れ、参考作品や先生のアドバイスをもとにたくさんの種を手に取り名前を調べたり、工夫した作品を作ったりとても充実した研修会でした。

また先生のお話や資料、たくさんの種から先生の種に対する深い愛情を感じられ、心に残る研修会でした。



出来上がった作品を持って